

Q・C・Dで考える 生産管理



経営技術研究所 藤井 春雄

1 生産管理とは何か

生産管理とは、あらゆる生産活動を計画し統制する総合的な管理活動のことであり、Q・C・Dを中心とした日常管理活動のことである。

Q(Quality)は品質管理であり、不良をなくし良い品質のものを顧客へ提供することである。たとえば、社内での異常品・不良品を徹底的に削減管理し、社外へは良い品質の製品を安定的に提供することで、クレームゼロを目指す活動である。

C(Cost)は原価管理であり、製品製造原価を極限まで減らし、安定した利益管理を目指す活動である。生産性向上活動も、原価低減活動の一手段になる。

D(Delivery)は納期と数量の管理で、顧客の要求する納期に合わせてできるだけ短いリードタイム(製造日数)で生産し、指定された納期を守ることである。納期管理の遂行には、資材を適切に購入管理し、工程の進捗管理、そして作業者の労務・人員管理を行うことが重要である。

以上を踏まえると、生産管理とはQ・C・Dを適切に管理し、管理のロスを経済的に少なくし、利益の最大化を目指す活動であるといえる。

「ロス(ムダ)は利益のたれ流し」であり、各部門の責任者・作業者がお互いに目標管理の中で日々徹底的に「カイゼン」し、ロス(ムダ)をなくしていくことが求められる。日々のQ・C・D活動の中で発生するロス(ムダ)を徹底的に削減することが、企業活動に求められる「継続的な利益向上」につながる。

2 生産活動とQ・C・Dの位置づけ

一般的に「生産管理」「工程管理」の言葉は、同じような意味で使われることもあるが、その言葉の意味合いも含め、全体を把握するために右ページの図1にまとめた。

生産管理の範囲は広義から狭義まで、さまざまな範囲で捉えることができるが、一般的には図1上に示すように、「広義の生産管理」に示す受注後の販売管理から生産各工程の管理、そして出荷以降の販売管理までを含めていう。また「狭義の生産管理」では、製造現場での工程管理を中心とした日常管理を指す。この日常管理には納期管理のほか、生産性・品質・原価管理が含まれる。

狭義の生産管理をさらにQ・C・Dの重要管理項目で見ると、生産4要素(人・設備・材料・方法)を日常的にPDCA管理することといえる(図2)。

図2 狭義の生産管理

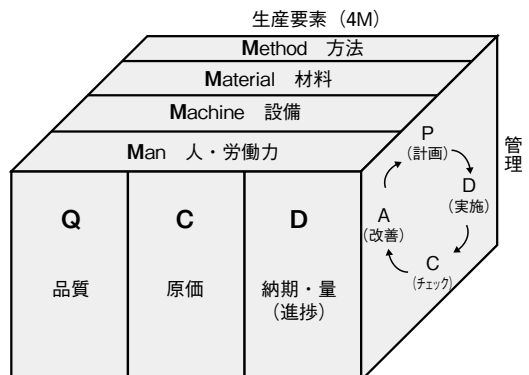




図1 生産管理の範囲

